

令和元年度絆交流

1月9日（木）午前中、陸前高田市の中学2年生（高田東中学校、高田第一中学校）20名を迎えて、絆交流を行いました。

生徒会が企画・運営した全校生徒との交流タイムでは、「友だちたくさんできるかなゲーム」を行いました。



＜「友だちたくさんできるかなゲーム」で互いに質問し合う生徒たちの様子＞

その後、1・3年生は体育館で引き続き防災講演会に参加し、2年生は陸前高田市の生徒たちと提灯づくりに取り組みました。

防災講演会は、元港防災センター長で現在吉村減災支援センター長の吉村 隆さんをお招きし、本校の学区の特性に応じた減災トーク「自分の命は自分で守る!～学校でも・自宅でも～」を行っていただきました。



＜防災講演会の様子＞



提灯づくりは、本校学区にある名古屋提灯づくりのお店、伏谷商店のご協力のもと行いました。伏谷商店の社長は本校の卒業生でもあり、また職場体験も受け入れていただいている、本校とは深いご縁があります。それだけでなく、伏谷商店さんは東日本大震災で多くの物が失われてしまった陸前高田の町に提灯を寄付しており、絆交流にも深く関わっています。

そんなご縁を生かして、作ることになったのが絆提灯です。昨年秋、本校生徒の希望者20名に「絆」の文字を、2年生と10組生徒、陸前高田の中学2年生20名に一人1枚の絵を描いてもらい、交流会当日までに、伏谷商店さんに提灯の枠組みに絵を張って仕上げてくださいました。

そして、交流会当日は、仕上がった提灯20張に、本校生徒と陸前高田市の生徒で協力して、絆をイメージしたライン装飾を施しました。



<提灯づくりの様子>



<完成した提灯と記念撮影したときの様子>

その後、再度全校生徒で体育館に集まり、それぞれの活動報告を行いました。また、短期間に集中して練習してきた、絆交流で歌われている歌「未来への翼」を約350名の生徒で合唱し、体育館いっぱいに歌声が広がりました。

絆交流の締めくくりとして、2年生は陸前高田の生徒たちと一緒にランチルームで一緒に昼食をとりました。提灯づくりを通して一体感が生まれたこともあり、ランチルームでは和やかな雰囲気のもと、笑顔で会話する姿が見られ、たった半日の交流でしたが、互いの絆の深まりが感じられました。



<提灯のお披露目の様子>

たった半日の交流でしたが、互いの絆の深まりが感じられました。